

出光興産、インドネシア新工場で潤滑油の製造強化

Edited By LogisticsToday On 2019/11/13



国内シェア
NO.1

日本と同じ在庫管理クオリティを実現！
クラウド
東南アジアでも使えるWMS
現地の言語・日本語・英語でサポート対応可能

ロジガードZERO [詳しくはこちら >](#)

出光興産は12日、同社の90%出資子会社である「出光ルブテクノインドネシア」（インドネシア）が、年間5万キロリットルの生産能力をもつ潤滑油製造拠点「チカラン工場」（同国ブカシ県）を新設し、7日に開所式を行ったことを発表した。

「チカラン工場」は2輪車・4輪車への初期充填用エンジンオイルと交換用オイルのOEM（相手先ブランド）製品の製造を手がける。



▲チカラン工場（出所：出光興産）

インドネシアは今後も堅調な需要が見込まれることから、同社は生産体制の強化を目的に新工場を設立。拡張余地がなくなった「カラワン工場」と合わせて年間11万5000キロリットルの生産体制を構築した。

同社は「今後もインドネシア地域密着の製造・販売体制を確立していくとともに、潤滑油事業の強化・拡大を目指

す」としている。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/357765>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.